

ミズバショウ 保全の碑完成

ヤチダモ林は残った

有志一千人の思いかなう

市民団体が
2市訴え

ヤチダモの林を守る。道内外一千人以上の有志の思いが詰まった「呼人水芭蕉群落保全の碑」がこのほど完成して二十九日、関係者約三十人が見つめる中、除幕式が行われた。

三年前に売りに出された呼人のヤチダモ林約四千九百五十平方メートル（民宿白鳥道路向かい）は、国定公園の境界外にある私有地なので規制はない。「このままでは埋め立てられてしまう。美しい林を残したい」と

市民有志が保全を訴え、全国から一千人以上、総額六百万円の寄付を集め同地を購入。市に永久保全を前提に寄贈した。

活動の中心になったのは網走湖・水と森の会（清水晶子会長）とNPOグリーンシーズ（高松勉代表）。除幕式で清水会長は「たくさんの心が寄せ集まりヤチダモの林は守ることが出来た。本当にありがとうございます。ありがとうございました」と感無量の面持ちであいさつ。高松代表は「人は地球の利

記念碑の前であいさつする清水会長



【今村】

2005年 5月 発行
呼人水芭蕉通信 1号
 - 網走湖・水と緑の会 -
 網走市呼人 187-1 森の家内 TEL 0152-48-2223
 FAX 0152-48-2223

息で生きて行こう。元金を食いつぶしてはいけない」と活動の意義を語った。鯉谷道議や市観光室などの関係者も駆けつけた。

ミズバショウ 個性さまざま

写真展に22点

【網走】市内呼人の喫茶店「ふれっぷ」で「呼



来店客の目を楽しませる写真展

呼人地区のミズバショウ群落を保全管理している「網走湖・水と緑の会」（清水晶子代表）の主催。美しい花を間近で撮影したアップの構図や、雪の中でたたずむかわいんな姿、また同会が保全作業をしている様子なども含め二十二点が並んでいる。

野鳥観察の途中で食事にと訪れたという市内の仲間弘子さんと佐久間真奈美さんは「同じミズバショウでもそれぞれに個性があって面白い」と感想を述べていた。同店は日、月曜日が定休。二十八日まで。

ミズバショウ群落 後世に

網走の保護団体が成果を記念して碑

そうと群落地に記念碑をつくり、協力者らに披露した写真展。

【網走】網走市呼人のミズバショウ群落地を買

会はこの豊かな自然を守ろうと、二〇〇二年四月に結成した。市内の特定非営利活動法人（NPO法人）グリーンシーズも協力し、〇三年末までに約五百十五万円を集めて約五千平方メートルの群落地を買収。土地は永久保存を条件に市に寄付した。



温泉研究の第一人者の辻井達一北海道環境財団理事長は「網走湖畔は道内一のミズバショウ群落地。住民の皆さんが保存に力を尽くしてくれたのはうれしい」と話す。

ミズバショウ守れ

網走の保護団体など 群落地の倒木撤去

【網走】市内の自然保護団体「網走湖・水と緑の会」（清水晶子代表）などは三十日、ミズバショウが群生する市内呼人の私有地で、昨年の台風で倒れた木々の撤去を行った。倒木から群落地を守るため、同会は「地域全体で自然の保護を考

えらきっかけになれば」

作業は同会のほか、市内の特定非営利活動法人（NPO法人）「グリーンシーズ」（高松勉代表）、景観作りを進める「東才ホーツクシーニックパイウェイ連携会議」（奥山英明事務局長）、地元企業などから約二十人が参加した。根元から倒れた

木撤去は道に届け出る必要があり、同会は四月中旬、撤去を届け出た。

ミズバショウ群落地の保全のため倒木を撤去した市民ら

作業場所は網走一女満別の両市町を結ぶ国道39号沿い。女満別町在住の八十代女性の所有地（約五畝）の一部で、網走国定公園内にある。費用が

かかり撤去が進まなかったため、同会などがこの所有者に撤去を申し出ていた。国定公園内の風倒

木撤去は道に届け出る必要があり、同会は四月中旬、撤去を届け出た。

《網走湖・水と緑の会》会員募集

- ・年会費 1,000円
- ・事業 水芭蕉の保全活動／自然観察会
呼人の水芭蕉写真展／植樹
年一回「呼人水芭蕉通信」発行、送付

郵便振替口座 口座名「網走湖・水と緑の会」
 口座番号 02730-3-20099
 連絡先 TEL・FAX 0152 (48) 2223 (謝)

